

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

① 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産（リース資産を除く）について、定率法により直接減価償却を実施している。

リース資産について、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法により減価償却を実施している。

② 引当金の計上方法

退職給付引当金は、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金は、支給見込額のうち、当期に帰属する金額を計上している。

③ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式である。

④ リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	60,392,800	2,061,400	0	62,454,200
減価償却引当資産	22,544,766	420,512	779,999	22,185,279
配分金支払準備資金積立資産	70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000
特定費用(インボイス)積立資産	20,000,000	0	0	20,000,000
合 計	172,937,566	72,481,912	70,779,999	174,639,479

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	62,454,200	(0)	(0)	(62,454,200)
減価償却引当資産	22,185,279	(0)	(22,185,279)	(0)
配分金支払準備資金積立資産	70,000,000	(0)	(70,000,000)	(0)
特定費用(インボイス)積立資産	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
合 計	174,639,479	0	112,185,279	62,454,200

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	18,942,000	12,235,187	6,706,813
車 輻 運 搬 具	9,324,870	9,324,865	5
什 器 備 品	625,230	625,227	3
リ ー ス 資 産	19,690,000	3,938,000	15,752,000
合 計	48,582,100	26,123,279	22,458,821

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
受取補助金等						
高年齢者就業機会確保事業費等補助金 及び雇用開発支援事業費等補助金	連合会	-	12,950,000	12,950,000	-	-
シルバー人材センター運営補助金	堺市	-	47,500,000	47,500,000	-	-
合 計		-	60,450,000	60,450,000	-	-